

かれんと

No.36

2010.3.25

Current:カレント

時代の流れあるいは
新しい潮流

男女共同参画について

高校生811人に聞きました

最近「男女共同参画」という言葉を、よく耳にするようになりました。

また、共働き世帯数の割合は、年々増加傾向にあり、男は仕事・女は家庭といった時代から男女共同参画社会へと変化しています。

今回は、鹿沼市内の高校2年生(男423人・女388人)にアンケートを実施して、若者の考え方をリサーチしました。



— 主な内容 —

- ・高校生811人に聞きました
- ・アンケートより (Q「男女共同参画」という言葉を知っていますか 他)
- ・第12回全国シェルターシンポジウム報告
- ・男女共同参画社会づくり実行委員会事業
- ・婦人相談員から
- ・ひとくちメモ
- ・編集後記

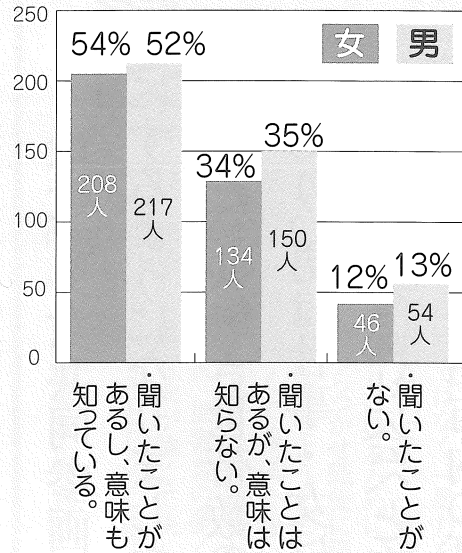
男女共同参画社会とは

男女が個人として尊重され、その個性と能力を充分に発揮する機会が確保されることで、自らの意思で社会のあらゆる分野における活動に参加し、共に喜びと責任を分かち合う社会をいいます。

*市内5高校の2年生および関係者の皆様、アンケートご協力ありがとうございました。

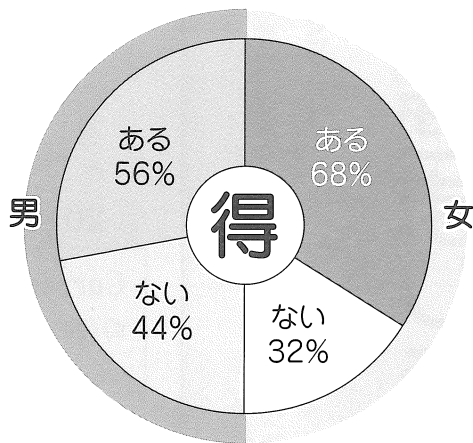


※「かれんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。



Q「男女共同参画」という言葉を知っていますか

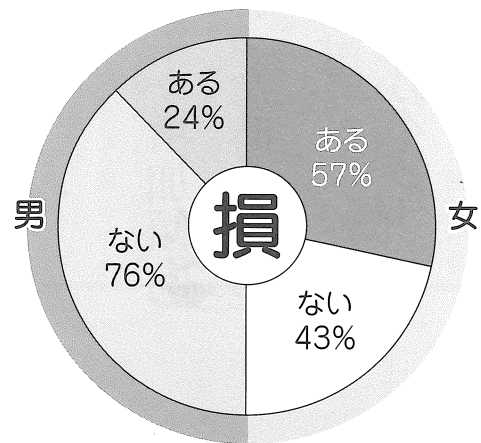
Q男女に生まれて得(損)したと思ったことはありますか



- レディースデー・女性専用車両など女性限定のサービスがある
- 子どもを産むことができる
- 長距離走の距離が短い
- おごってもらえる
- かわいい服やお化粧などを楽しめる



- 体力がある
- 野球で公式戦に出られる
- さっぱりした付き合いができる
- 着替え・トイレが楽
- 家事をやらなくても済む



- ×家事の手伝いをさせられる
- ×生理が面倒
- ×人間関係が複雑
- ×体力差を感じる
- ×言葉遣いに気を使う
- ×制服がスカート(寒い)

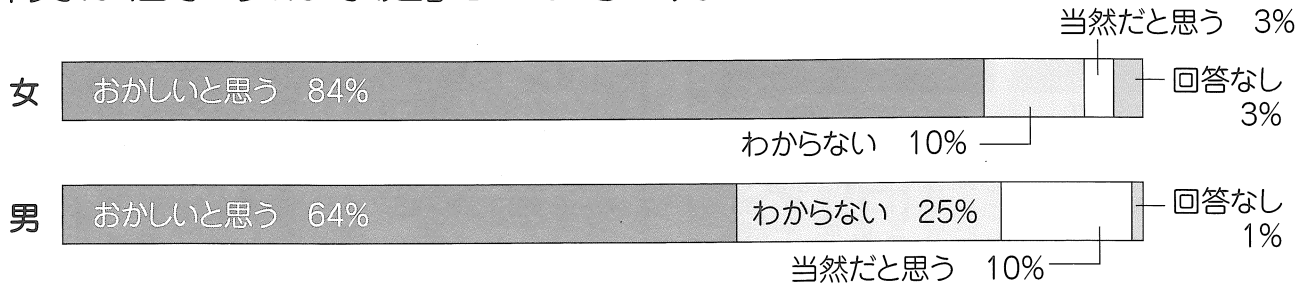


- ×力仕事を押し付けられることが多い
- ×レストランでスイーツが頼みづらい
- ×泣き言がいえぬ
- ×後継ぎを期待される
- ×ヒゲが生える

編集員のコメント

女性には「ていねいな言葉使いや家事の手伝いは女性がするもの」男性には「運動能力・決断力等心身の強さ」を求められている傾向が強く、これを不満としている生徒も多く見られた。男性は体力・筋力が女性より勝っている事に誇りを持っている反面、女性が優遇されているサービス等に不満をもっているようだ。一方女性はおしゃれなどを楽しむ事が得との意見が多く見られた。

Q「男は仕事・女は家庭」という考え方をどう思いますか



編集員のコメント

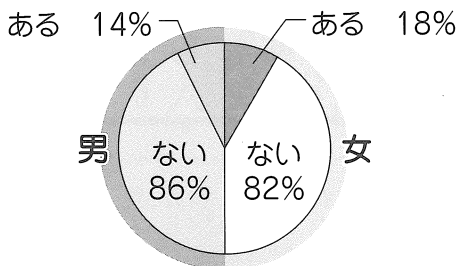
「男は仕事・女は家庭」といった考え方をおかしいと思う人は、女性84%・男性64%と多く、時代の変化を実感することになった。今回のアンケートから、女性も仕事を持ち、家事・育児は「家族で協力する」との意見が多くみられた。

Q「DV・デートDV」という言葉を知っていますか

	男	女	全体
・聞いたこともあるし意味も知っている	49%	68%	58%
・聞いたことはあるけど、意味は知らない	23%	23%	42%
・聞いたことはない	27%	8%	
・無回答	1%	1%	



Q異性に手を挙げたり言葉でいじめたりしたことがありますか



編集員のコメント

DV・デートDVの言葉と意味を知っている生徒は過半数に達し、この言葉が浸透しつつあることが分かる。男性の14%、女性の18%がいじめをしたとの回答。しかし、その女性のほとんどがDVの意味を知っていたことにも驚かされた。

Qどのような大人になりたいですか

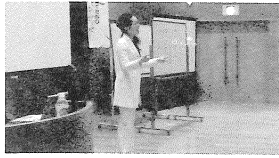
- ・ 誰にも平等に接する事のできる人
- ・ 自立したバリバリのキャリアウーマン
- ・ 母のようにはっきり意見の言える人
- ・ 好きな人と結婚し幸せな家庭を作りたい
- ・ 人に優しく自分に厳しい人

- ・ 何事もプラス思考に毎日を楽しめる人
- ・ 視野が広く頼られ周りに気を配れる人
- ・ 家庭を安定させられる人
- ・ 悪い事にNOと言える人
- ・ DVをしない人

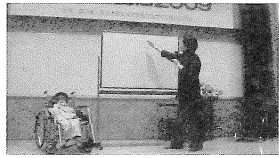
その他のアンケート・・・「Q将来結婚したいと思いますか」との質問には、16%の人が結婚したくないとの答えがあり、将来に不安を感じる若者も少なくはない。女性の中には「家事に縛られたくない」「仕事に専念したい」などの意見もあった。

まとめ・・・男女平等の実現に向けた様々な取り組みが着実に進められてきましたが、現実の社会においてはまだまだ男女間の不平等を感じる人も多く、なお一層の努力が必要とされています。

男女共同参画社会づくり実行委員会事業



ホップ de ジャンプ



ときめき鹿沼 2009

ときめき鹿沼2009
10月3日(土)市民情報センターにおいて平成21年度男女共同参画社会づくり標語入賞作品(10点)が表彰されました。
最優秀賞 塩山町 黒川真里佳さん
「おもいやる心が育む 共同参画」
続いて、カウンセラー・エッセイスト 羽成幸子さんの「介護に見る男と女のありかた」の講演会を行いました。
身内5人の介護体験をもとに、介護する側、介護される側の心のあり方をユニークな発想と介護哲学でわかりやすく語り、姑のキクさん(人形)を伴って現れた講師はエネ

ルギツシユに会場を歩き回り、そのパワーと介護のエキスパートとしての語りは、多くの聴衆の共感を得ていました。
ホップ de ジャンプ
男女共同参画社会づくりリーダー育成を目的に、1月16日(土)市民情報センターにおいて、「自分にブランド力をつけてわたしらしくキラキラ輝くためのハッピーレシピ」と題して、ちとせさんの講演会を行いました。「他者演出をすることが、結果として自分を輝かせる自己演出になる」等のお話に、受講者の皆さんは、いつそう、輝きが増したように感じました。

第12回全国シェルターシンポジウムin とちぎに参加して



平成21年11月22日(日)・23日(月・祝)
栃木県総合文化センター 於

このマークは、女性に対する暴力根絶のためのシンボルマークです。

2日間にわたる大会に参加した中から学んだことについてご報告いたします。
いくつかの分科会の中から、「なぜ男は暴力をふるうのか」に参加しましたが、DV加害者は、暴力を自制できないのではなく、「暴力を選んでいる」というのです。「配偶者を自分の思い通りに操るために、家の中で暴力をちらつかせ恐怖に陥れて、言うことを聞かせよう」とし、抵抗すれば力づくで服従を強いる。それがDVである」と断言しています。そして、加害者の多くは、執着心と所有欲が強くて決して配偶者を手放さうとしないと断言しています。
また、やっと、加害者から逃れ

られたとしても、その後の回復は容易ではなく、長い間フラッシュバック・悪夢・怯え・物忘れ・記憶の障害などPTSD(心的外傷後ストレス障害)の症状を呈する被害者もいると言われています。
それらの回復のためには、女性の安全と癒しを援助するようなコミュニティ資源について学び、作り出し、被害者が接近できるようにしていくことが課題であると感じました。最後に加害者の更正についての再教育は難しいとありましたが、この世の中から、一日も早くDV被害者がいなくなり、安心して暮らせる世の中になることを願わずにはいられませんでした。

「婦人相談員から」

鹿沼市は21年4月から「婦人相談(DV、離婚)」窓口を開設しましたが、22年1月までの間に約80件の相談がありました。恋人や夫から、殴る、蹴るの暴行や、人格を否定される様な暴言に、身も心も疲れ果て相談に来たという方が大半でした。しかし、相談に来られた方々は氷山の一角で、昨年10月、11月に行なった県のDVに関する意識調査では暴力を受けながらも、約半数の方が何処にも誰にも相談した事がないという結果でした。暴力を振るわれるのは、夫を怒らせる自分が悪いからとか、周りの人達に知られるとみっともないからとか、どこに相談したら良いか分からないなどの理由により一人て悩み苦しんでおられるのが現状の様です。しかし子供のいるご家庭では、その繰り返しされる暴力を子供が見ています。子供は子供なりに、悲しみ苦しみながら成長する事でしよう。そして将来的に「何か問題が起きた時は暴力で解決するのだ」という間違った認識を持って大人になったとしたら、又暴力が繰り返されてしまいます。相談に来るといふことは、ご本人にとつて、とても勇気のいる事だと思えますが、気楽なお気持ちで窓口へお越し下さい。解決の糸口を相談者と一緒を考えていきたいと思っています。

《秘密は厳守いたします。》
鹿沼市役所新館2F②0番窓口へ

ひとくちメモ

デートDV
恋人どうしでの体、言葉、態度による暴力のこと。
・叩く、殴る、蹴るの暴行
・人格を否定するような言葉
・携帯電話のチェック
・行動の制限、阻害
・強制を伴う性的行為
・デートで常におごらせる
このような行為を言います。
「フリー百科事典(ウィキペディア)」より抜粋

編集後記



最近「男性は優しく、女性は強くなった」と言われていますが、アンケートの結果にも表れているように感じました。女性は経済的・精神的に自立したいというパワーを持ち、一方男性は強さだけでなく優しさ・思いやりのある大人になりたいと言う回答も多くありました。これは「男女共同参画社会」が定着しつつあることと思えます。また、生徒たちは現代社会のひずみや悲惨な事件・事故等も見ており世相を反映した回答もありました。

(とんとん)